

●耐震改修の実例

平均的な耐震改修費用

リフォーム分は含まず

補助制度利用者（【精密診断型】による改修工事）の統計値※

設計費用 	平均 約45万円 (主な分布 30~80万円)
工事費用 	平均 約305万円 (主な分布 150~500万円)
耐震改修費用 合計 	平均 約350万円 (主な分布 130~580万円)

※ ご注意 上記費用は、平成 28 ~ 令和 5 年度に横浜市が補助金を交付した約 225 件のデータ（【精密診断型】による改修工事）をもとに作成しています。また、耐震改修工事と同時にされるリフォーム費用は含まれていません。

耐震設計の費用（補足）

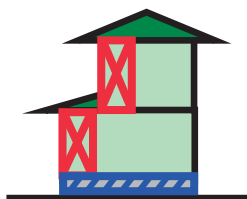
耐震設計には工事監理※も含んで契約をすることがほとんどです。その費用の目安は、**建物の年代や規模はあまり関係せず**、一般的に下記のように決まります。

費用 = 設計・監理に必要な日数 × 人件費/1日 × 係数（経費など）

具体的な費用は、作成図面の枚数や打ち合せの頻度、業務体制などによっても異なります。事前にその内容について、設計者に確認してください。

※工事監理とは、工事を設計図書と照合し、それが設計図書のとおり実施されているかいないかを確認することをいいます。

横浜市内の耐震改修事例（【精密診断型】による改修工事）



事例比較一覧

※1	改修事例1	改修事例2	改修事例3	防災ベッド設置事例	※2
新築年	昭和54年	昭和53年	昭和37年	昭和56年	
延床面積	115.93㎡	116.76㎡	101.09㎡	152.3㎡	
評点	改修前	0.30	0.23	0.40	—
	改修後	1.08	1.02	1.05	—
屋根軽量化	140㎡	—	68㎡	—	
壁補強	16箇所	19箇所	16箇所	—	
基礎補強	—	1.82m	8.34m	—	
工期	約3か月 (住みながら)	約3か月 (住みながら)	約5か月 (住みながら)	約1日 (住みながら)	
耐震工事費	395万円	348万円	424万円	62万円	
補助金	▲105万円	▲100万円	▲100万円	▲20万円	
自己資金	290万円	248万円	324万円	42万円	
掲載ページ	13ページ	14ページ	15ページ	16ページ	

—：工事なし

※ご注意

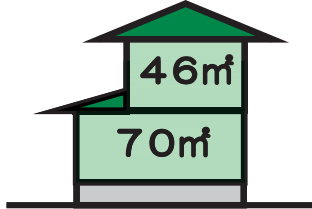
※1 この事例集は、横浜市の補助制度を利用して【精密診断型】による耐震改修工事を行った住宅のデータをもとに作成していますが、工事内容や金額については、建物の状態や工事の条件等、様々な要素によって大幅に変わりますので、ご注意ください。

※2 防災ベッド・シェルターに関する内容は、23～26ページをご覧ください。

改修事例 1 壁を補強 屋根軽量化

対象家屋

S54年築



費用内訳



耐震工事費用
395万円



補助金

105万円
※平成30年度

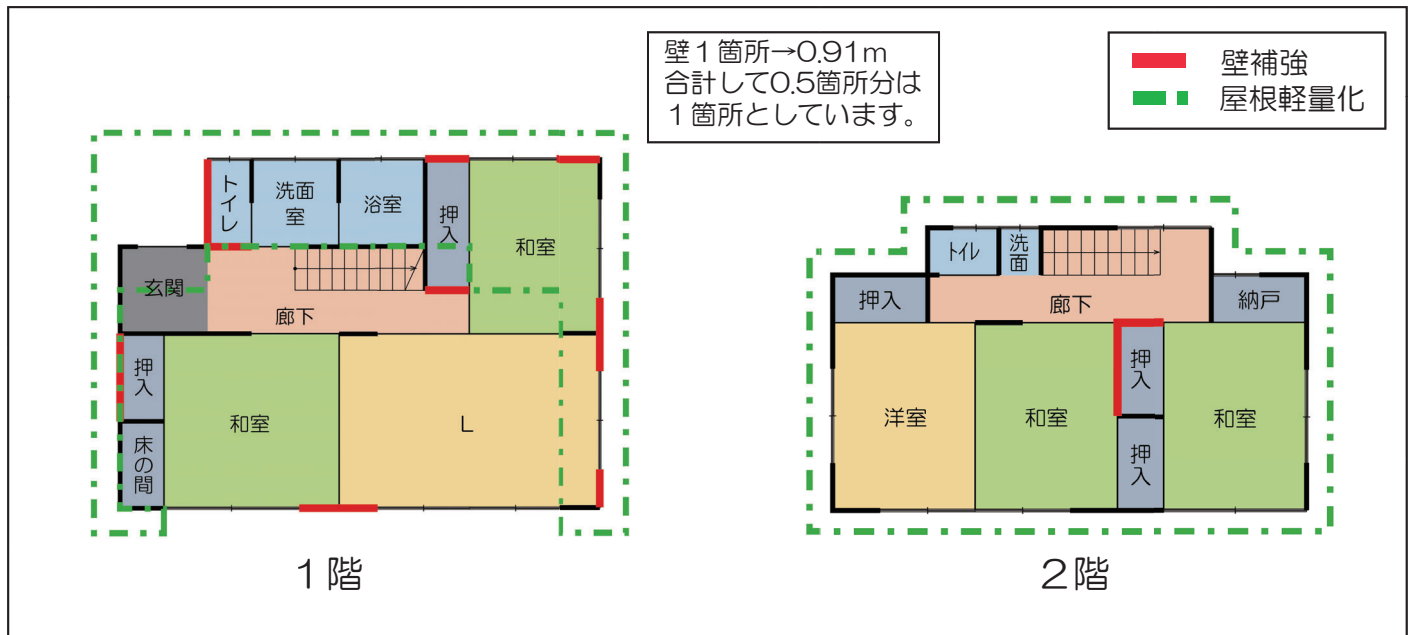


自己資金

290万円

補強概要

上部構造評点 0.30 → 1.08



補強数量

1階壁	13箇所	基礎	工事なし
2階壁	3箇所	屋根	140㎡

費用詳細

屋根工事	218万円
壁工事	177万円
基礎工事	—
その他※諸経費等	—
合計	395万円

ポイント

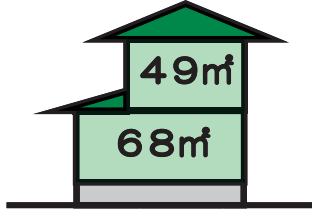
屋根を軽量化することで壁の補強が少なくなりました。屋根範囲が広いため屋根工事費用が多めにかかりました。

- 工事期間 約3か月（住みながら補強）
- リフォーム 53万円
（2階内装リフォーム・一部設備入替）

改修事例2 壁を補強 一部基礎を補強

対象家屋

S5 3年築



費用内訳



耐震工事費用
348万円



補助金

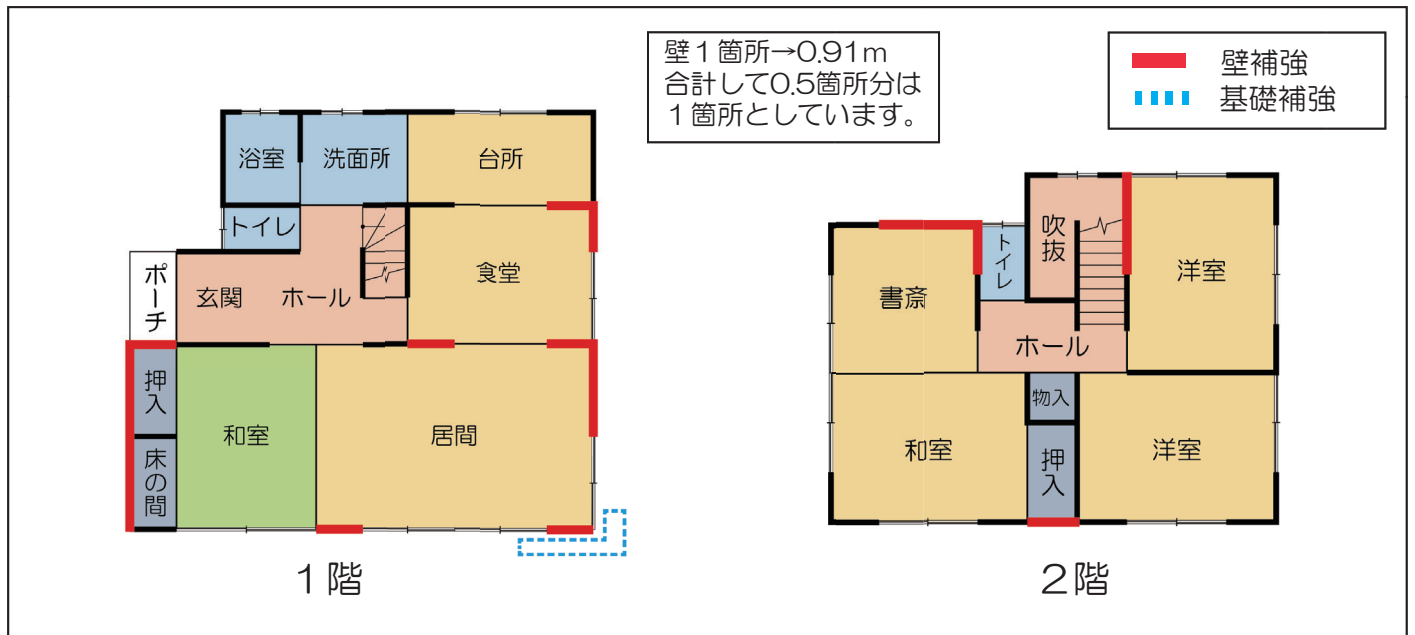
100万円
※令和3年度



自己資金
248万円

補強概要

上部構造評点 0.23 → 1.02



補強数量

1階壁	13箇所	基礎	1.82m
2階壁	6箇所	屋根	工事なし

費用詳細

屋根工事	—
壁工事	234万円
基礎工事	30万円
その他※諸経費等	84万円
合計	348万円

ポイント

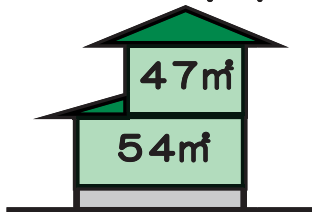
基礎は、引抜力が大きい箇所のみを補強することで費用を押さえます。

- 工事期間 約3か月（住みながら補強）
- リフォーム 工事なし

改修事例3 壁を補強 屋根軽量化 一部基礎を補強

対象家屋

S37年築



費用内訳



耐震工事費用
424万円



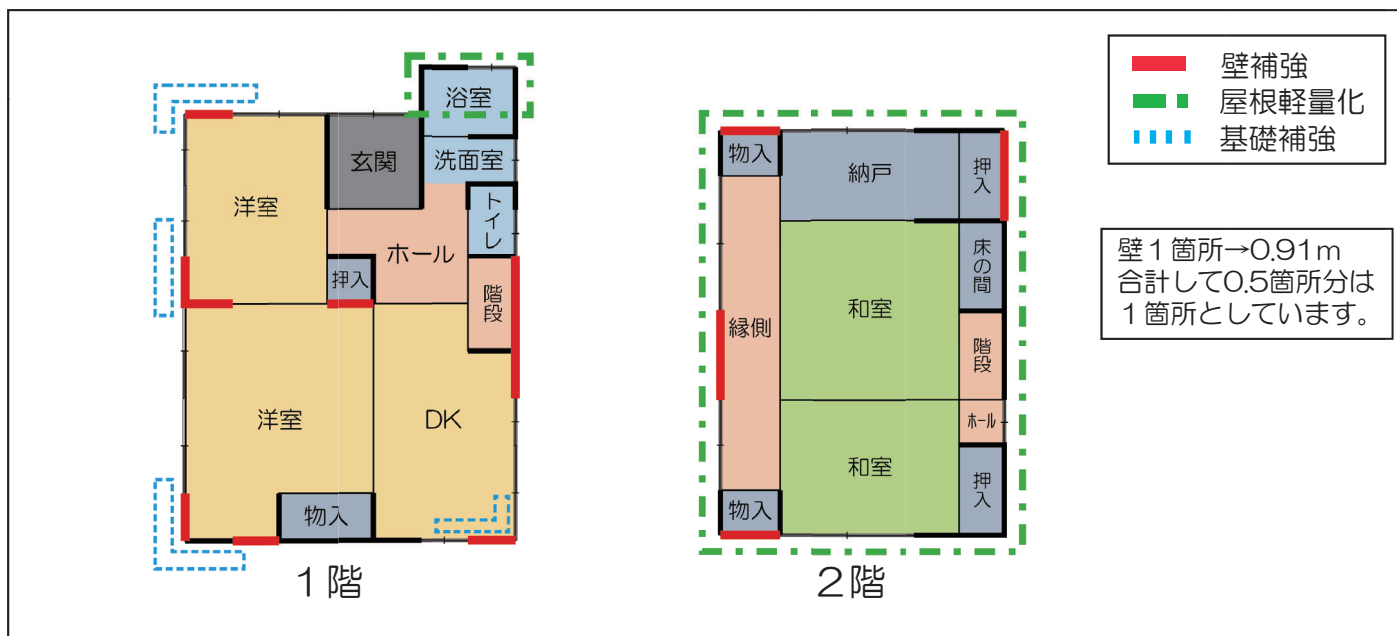
補助金
100万円
※令和3年度



自己資金
324万円

補強概要

上部構造評点 0.40 → 1.05



補強数量

1階壁	10箇所	基礎	8.34m
2階壁	6箇所	屋根	67.8㎡

費用詳細

屋根工事	158万円
壁工事	198万円
基礎工事	68万円
その他※諸経費等	—
合計	424万円

ポイント

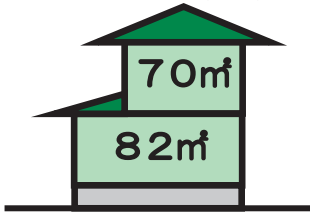
昭和37年築の古い家屋であっても、屋根の軽量化、壁の補強、基礎の補強を行うことで、耐震性を確保することが出来ました。

- 工事期間 約5か月（住みながら補強）
- リフォーム 797万円
（内装リフォーム・サッシの入替・キッチン交換等）

防災ベッド設置事例

対象家屋

S56年築



費用内訳

防災ベッド
設置費用
62万円

補助金
20万円

自己資金
42万円

補強概要

1階図面

設置場所

写真

費用詳細

本体価格	42万円
設置工事	9万円
その他※諸経費等	11万円
合計	62万円

ポイント

寝室に防災ベッドを設置しました。
和室のため、畳が沈みこまないよう補強ボードを床に敷いた上で防災ベッドを設置しました。

- 工事期間 1日（住みながら設置）
- リフォーム 工事なし